

終了
しました

2024 山階鳥研見に来くチャー

11月3日（日・祝） 時間割

9:30 ~	⑥ 伊豆の海で出会えるようになったアホウドリ	富田直樹
10:30 ~	⑦ 皇居の鳥	浅井芝樹
11:30 ~	⑧ 鳥類標本ってどんなもの？ *子ども限定	岩見恭子
12:30 ~	⑨ 2022年標識調査 おいしいとこだけつまみぐい	千田万里子
13:30 ~	⑩ 背景を知ると面白い標本の話	小林さやか
14:30 ~	⑥ 伊豆の海で出会えるようになったアホウドリ	富田直樹

講演内容

各回30分程度

⑥ 伊豆の海で出会えるようになったアホウドリ	一時は絶滅したと考えられたアホウドリ。1970年代から保全活動が行われ、最近では伊豆諸島の海域でもかなりの確率で観察されるまでに増加し、東京から八丈島の定期船がバードウォッチャーでにぎわうようになりました。アホウドリの現状と課題についてお話しします。	やや専門的
⑦ 皇居の鳥	皇居は都内の貴重な緑地となっており、多くの野生生物が生息しています。山階鳥類研究所は皇居の鳥を長年調査してきました。どのように調査が行われているのかを紹介し、これらのデータを使って調べたいと考えていることをお話しします。	やや専門的
⑧ 鳥類標本ってどんなもの？ *子ども限定	鳥類標本ってどんなものだろう？ 剥製はどうやって作るの？ ふだん見られない標本にまつわるお話です。 <小学生から高校生まで限定、小学1、2、3年生は保護者1名まで同伴可、未就学児は保護者同伴で参加できます> <注意！ 解剖画像あり>	子ども限定
⑨ 2022年標識調査 おいしいとこだけつまみぐい	「2023年の間違いじゃない？」いえいえ、鳥類標識調査では、毎年大量の足環装着記録・再発見報告を扱っているため、1年越しのデータ整理を経てようやく概要をお見せできるようになるのです。 3月に公開された2022年の成果から、おもしろい部分をぎゅっと集めて皆さんにご紹介します。	一般向け
⑩ 背景を知ると面白い標本の話	山階鳥研には8万点の標本が保管されています。標本1点1点に歴史があり、エピソードも多様です。今日はその中からいくつかをご紹介します。	一般向け

①～⑤は11月2日（土）に実施したタイトルです。本日の講演はありません。